



政明

清里町長
櫛引

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には輝かしい新春をご壮健でお迎えになられましたことに心よりお祝いを申し上げます。昨年は、天候も比較的穏やかで、大きな災害も無く平穏な中に過ぎた一年でありました。

基幹産業である農業にあつては、麦やジャガイモ、てん菜の基幹三作物共に平年並みか、それ以上の良い成績でしたし、酪農や畜産においても順調とのことであり、農業者の皆様のご努力と、農業関係機関の皆様のご指導の賜物と、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

一方、商工業関連では、アベノミクス経済対策の3本の矢と、その景気の好循環を地域の隅々までとする、アベノミクス第2ステージで掲げられた、一億総活躍社会の創造による各種の対策も、輸出を中心とする大企業においては、株価も史上最高値を付けるなど景況感に浸っています。が、地方にはその恩恵は全く感じること無く、厳しい中で的一年となりました。

町においては、そうした状況を踏

まえ、昨年12月に、地元消費の拡大と地域経済の活性化のための「緊急経済対策」を、議会の可決承認のもと実施させていただいたところであり、年末年始、そして年度末にかけてこれら対策の効果が広く町内全体に行き届き、少しでも活力と賑わいが甦ることを期待しているところであります。

そうした中、平成29年度における本町の各種事業については、全て順調に進捗しており、特に、高齢者の見守り居住施設である、ケアハウスにつきましても、2カ年事業として5月に着工されており、また8月には、阿寒摩周国立公園への名称変更に伴い、神の子池が公園区域に編入されるなど、新たな観光地として脚光を浴びることとなりました。

そして一昨年、加盟認定を頂いた「日本で最も美しい村」連合につきましても、研修会および物産展などへの参加を通して、本町のPR・宣伝活動を実施し、また北海道日本ハムファイターズの「宮西・中村両投手」が応援大使として、1年間、清里町を応援して頂き、町民による応援ツ

アーや地元でのトークショーなど、様々な機会を通じて本町を売り込むチャンスを得いた年でもありました。さて、本年は、この地が北海道と名づけられて150年の大きな節目の年となり、また、清里町においても、明治30年に開拓の鍬が下ろされて120年、そして昭和18年に斜里町、小清水町から分村して75年の記念すべき年であります。

私は、先人先輩の皆様が作り上げてきた、このかけがえのない「ふるさと清里町」を更に発展させ、次の世代へと継承するため、町民の皆さんとともに「明日のふるさとづくり」に、全力で取り組んで参ります。

現在、新年度に向けた予算編成の最中であり、予定している主な事業として、「清里町120年記念式典と記念事業」、「ケアハウスの供用開始」、「農業基盤整備事業の新規地区」、「子ども子育て支援対策」、「保健・福祉・医療体制の充実」、「教育文化スポーツ活動の充実」等々、継続事業の充実整備と併せ、新規事業の取り組みなどについても積極的に進めてまいりますので、今まで同様のご支援、ご協力を頂きますことを心よりお願い申し上げます。

結びになりましたが、本年が皆様にとりまして最良の年となりますことと、ご健勝でのご活躍をご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。



清里町議会議長
田中 誠

新年明けましておめでとうござい
ます。

希望に満ちた輝かしい平成30年の
新春を町民の皆様と共に迎えられま
すことを、心よりお慶び申し上げま
す。

また、日頃より議会活動に対しま
して、深いご理解とご協力を賜り、
衷心より厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、アメリカ
ではトランプ政権が誕生し、アメリ
カ第一主義をかかげ、TPP協定や
地球温暖化対策バリ協定からの離脱
を表明するなど、様々な影響が出て
きており、国際情勢は混迷を深めて
きています。

さらには、北朝鮮が弾道ミサイル
の開発を進め、発射実験を繰り返す
など東アジアでも緊張が高まってき
ています。韓国では、文大統領が誕
生し、北朝鮮への融和姿勢を示すな
ど日本との関係にも影響が表れてき
ていくところです。

貿易問題では、アメリカの離脱に
より進められていたTPP11が大筋
合意され、さらに、日EU・EPA

交渉も妥結にいたりしました。日本農
業に大きな影響が出ると考えられ、
国内対策の充実を強く働きかけてま
いります。

国内では、衆議院の解散、総選挙
が行われ、自民党が圧勝し、与党で
衆議院の3分の2を超える議席を獲
得しました。安倍政権が統投となり、
今後、憲法改正論議に拍車がかかる
ことが予想されます。

阿寒摩周国立公園に「神の子池」
周辺区域が認められるという嬉しい
話題もありました。これを契機に本
町へもより多くの観光客が訪れるよ
う取り組んでまいります。

JR北海道が単独で維持すること
が困難な路線の問題につきましては、
オホーツク圏活性化期成会を中心に
「石北本線」、「釧網本線」ごとに部
会を設置して調査研究がされていま
す。国・道においてもこの問題の解
決に関わるよう働きかけ、更に論議
を深めていく必要があります。

本町の状況であります。基幹産
業であります農業につきましては、
全国的には不安定な天候が続きまし

たが、清里町においては春先より天
候に恵まれ、台風による大きな被害
もなく、豊穣の秋を迎えられました
事を心よりお慶び申し上げます。

昨年は、「ケアハウス整備事業」が
進められ、見守りの必要な高齢者
に対し、安心・安全な住まいを提供す
るケアハウスの建設工事が着手され
ました。本年、施設が完成し入居者
を募集する予定となっております。

また、年末には、緊急経済対策を
行い、地域振興券の交付など町内の
消費拡大に努めたところです。

今、多くの地方自治体では、過疎
化や少子高齢化等、さまざまな課題
に直面し、まちづくりのあり方その
ものが大きく問われています。

新たな年を迎え、町議会としての
役割と責任の重さを自覚し、決意も
新たに町議会の充実と活性化に取り
組み、清里町を魅力ある「まち」に
するため議員一同全力を尽くしてま
いります。

本年も変わらぬご支援とご協力を
お願い申し上げますとともに、町民
皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し
上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

